

習志野市子どもの読書活動推進計画の中間年度における取り組み内容の見直しについて

アンケート結果等を踏まえた主な課題

- ① 幼保こ園の保護者へのアンケート結果から・・・
図書館に行きたくても行けない方への対応
図書館や幼保こども園から保護者に効果的な情報発信をすること
- ② 小学6年生、中学3年生へのアンケート結果から・・・
読書の面白さや、おすすめの本、各種イベントの情報などの
情報発信により学校図書室や市立図書館の利用頻度を上げること

今後の取組案（概要）

[未就学児対象]

- ◆ 「コドモン」を活用した保護者への情報を発信（幼保こ園）
読み聞かせた本、おすすめしたい本、年齢に即した絵本 など
- ◆ 市立図書館の事業を積極的に案内（こどもセンター（鷺沼））
社会教育課での予約本受取や、図書館の読み聞かせ講座開催 など
- ◆ 絵本等の拡充（こどもセンター（鷺沼）、きらっこルームやつ）
市立図書館の団体貸出や、寄贈図書や除籍資料の提供を受ける
市立図書館作成の各種ブックリストの配布 など

[小学生・中学生対象]

- ◆ 一人一台タブレット端末への配信（市立図書館）
図書館報「ティーンズレター」、ブックリスト「よんでみて！」
新着本情報、子供向けイベント情報 など
- ◆ 学校司書を活用した学校図書館の魅力化（各学校・指導課）
学校司書が授業に参加しブックトークや資料探しを補助、
学校司書が学校図書室でできることをPR、各学校間の情報共有
- ◆ 学校と市立図書館の連携（各学校・指導課・市立図書館）
授業での市立図書館の活用促進のため、休館日に図書館を開放 など

※その他計画の変更箇所

- 事業番号 54 小中学校への図書館検索システム設置の検討
→ 1人1台タブレット端末貸与に伴い、項目を廃止
- 事業番号 62 電子図書館の導入の検討
→ 導入済みのため、電子図書館の利用の促進 に変更